

ホッカンホールディングス決算説明会

証券コード: 5902



2016年6月1日
ホッカンホールディングス株式会社

目次



代表取締役社長 工藤 常史

2016年3月期決算概要

2016年3月期決算概要	...	3
2017年3月期見通し概要	...	4
ホッカン・グループ紹介	...	5
ACTIVE-5数値計画&実績	...	6
ACTIVE-5基本戦略成果	...	7

常務取締役 山崎 節昌

2016年3月期決算詳細

セグメント別売上高概要	...	9
連結セグメント情報	...	12
連結損益計算書	...	13
連結貸借対照表	...	14
連結有利子負債の圧縮	...	15
連結キャッシュフロー計算書	...	16
連結設備投資	...	17
配当政策	...	18

【参考】経営成績

要約連結貸借対照表	...	20
要約連結損益計算書	...	21
要約連結キャッシュフロー計算書	...	22

【参考】会社概要

プロフィール	...	24
経営理念	...	25
本社と各社工場	...	26
沿革	...	27
お問合せ先	...	28

2016年3月期決算概要

2016年3月期決算概要



単位：百万円、%

	2016年3月期		2015年3月期	
		前期比伸び率		前期比伸び率
売上高	119,923	▲21.6	152,931	▲9.9
営業利益	4,593	462.8	816	▲78.3
経常利益	5,732	246.9	1,652	▲64.4
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,384	-	▲4,805	-

- 売上高：お客様の飲料事業撤退および充填事業における一部お客様との取引形態変更の影響を受け減収
- 営業利益：固定費削減、原材料価格およびエネルギーコスト低下等の要因により増益
- 経常利益：営業利益の増益および持分法利益等が貢献し増益
- 当期純利益：前期純損失からV字回復を達成

連結決算：2017年3月期見通し概要

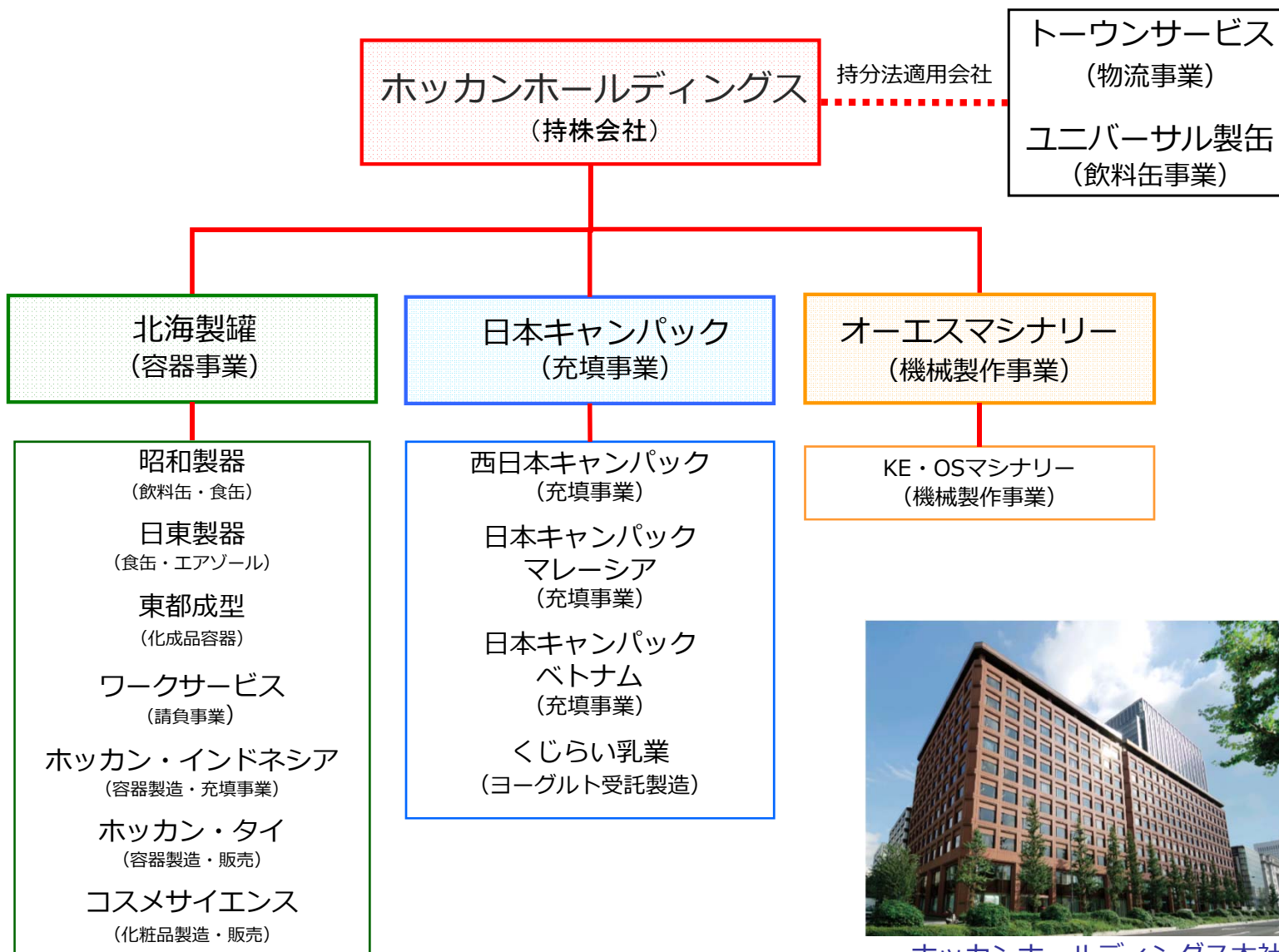


単位：百万円、%

	2017年3月期				2016年3月期	
	通期予想	前期比	上期予想	前年同期比	実績	前期比
売上高	124,000	3.4	68,000	6.2	119,923	▲21.6
営業利益	4,800	4.5	5,000	31.4	4,593	462.8
経常利益	5,800	1.2	5,700	30.2	5,732	246.9
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,000	▲11.4	3,100	19.6	3,384	—

- 清涼飲料市場における熾烈な販売競争は継続する見込み
- 充填事業において若干の売上増加を見込む
- エネルギーコストは上昇傾向である一方、構造改革による固定費削減努力を継続

ホッカン・グループ紹介



ホッカンホールディングス本社

ACTIVE- 5 数値計画&実績



売上/利益計画	12/3期実績	13/3期実績	14/3期実績	15/3期実績	16/3期実績	16/3期計画
売上高	1,731億円	1,669億円	1,697億円	1,529億円	1,199億円	1,850億円
営業利益	46億円	49億円	38億円	8億円	46億円	75億円
営業利益率	2.7%	3.0%	2.2%	0.5%	3.8%	4.1%
ROE	5.9%	7.1%	4.3%	N/A	7.4%	7.0%

財務計画	12/3期実績	13/3期実績	14/3期実績	15/3期実績	16/3期実績	16/3期計画
有利子負債	464億円	435億円	444億円	512億円	488億円	300億円
自己資本比率	29.9%	33.3%	33.4%	32.0%	34.5%	40.0%
流動比率	96.8%	100.5%	101.8%	92.2%	106.5%	100.0%

1. TPS – グループ会社間で協力した新PET容器開発等
2. 環境 – 日本キャンパックにおけるバイオガス発電事業
容器軽量化を継続
3. 海外事業 – インドネシアでの充填事業開始および生産ライン増設
ベトナム充填会社 100%子会社化
4. 新規事業 – 機械製作会社 KEOSマシナリー設立
化粧受託製造会社 コスメサイエンス買収
ヨーグルト受託製造会社 くじらい乳業買収
容器製造会社 日本キム買収
5. グループ経営 – グループ内人材流動化を実施
6. 情報システム – グループ内バックオフィス系システムの統一化

2016年3月期決算詳細

セグメント別売上高概要①



スチール缶事業	飲料用スチール缶	カウンターコーヒーの影響 一部お客様のアルミ缶への移行	前年度比マイナス
	農産缶詰	スイートコーン缶の増産	前年度比プラス
	水産缶詰	水産原材料の価格高騰の影響	前年度比マイナス
	エアゾール缶	一般缶の順調な販売	前年度比プラス
	美術缶	贈答用商品の順調な受注	前年度比プラス
プラスチック事業	飲料用ペットボトル	お客様内製化の影響	前年度比マイナス
	プリフォーム	積極的な営業活動	前年度比プラス
	食品用プラスチックボトル	贈答用商品の減少	前年度比マイナス
	一般成形品	化粧品用/農薬・園芸品用が順調に推移 BIBの新製品受注	前年度比プラス

容器事業：売上高 42,296 百万円 前年度比 ▲1.0%

セグメント別売上高概要②



充填事業	缶製品	重要なお取引様の撤退の影響、カウンターコーヒーの影響	前年度比マイナス
	大型PET	夏場の好天の影響、大型/小型兼用ラインの増設	前年度比プラス
	小型PET	夏場の好天の影響	前年度比プラス
	乳製品	くじらい乳業連結化	—

充填事業：売上高 68,304百万円 前年度比 ▲34.6%

※大型&小型PET 販売数量ベースでは前年同期比プラスも、一部お客様との取引形態変更の影響により売上減少

機械製作事業	機械製作部門	カセットガス工場充填ラインの設備受注 自動車部品生産設備受注	前年度比プラス
	エンジニアリング部門	グループ内向け受注の減少	前年度比マイナス

機械製作事業：売上高 3,286百万円 前年度比 +106.5%

セグメント別売上高概要③



そ の 他	インドネシア事業	第2ライン増設効果	前年度比プラス
	ベトナム事業	ベトナム国内販売及び輸出数量増加	前年度比プラス
	構内作業	安定的な運営	前年度並
	化粧品事業	コスメサイエンス連結化	—

その他：売上高 6,037百万円 前年度比 +44.7%

連結セグメント情報



単位：百万円

	2016年3月期				2015年3月期			
	容器 事業	充填 事業	機械 製作	その他	容器 事業	充填 事業	機械 製作	その他
売上高	47,533	68,304	6,839	7,481	52,764	104,447	13,202	5,678
外部顧客向け	42,296	68,304	3,286	6,037	42,720	104,447	1,591	4,172
セグメント間	5,236	-	3,552	1,444	10,043	-	11,611	1,505
営業利益	2,192	3,358	371	▲232	45	1,398	281	161
消去	▲1,097				▲1,070			
連結	4,593				816			

営業利益

- 容器事業：構造改革による固定費削減、エネルギーコスト良化、減価償却方法変更等により増益
- 充填事業：新ライン稼働による生産性向上、エネルギーコスト良化、減価償却方法変更等により増益
- 機械製作事業：外部向け売上高の拡大により増益
- その他事業：海外事業において当初の計画通りに売上が拡大せず減益

連結損益計算書



単位：百万円、%

	2016年3月期			2015年3月期	
		百分比	前年同期 比伸び率		百分比
売上高	119,923	100.0	▲21.6	152,931	100.0
売上原価	102,559	85.5	▲26.2	138,942	90.9
売上総利益	17,364	14.5	24.1	13,989	9.1
販管費	12,771	10.6	▲3.1	13,173	8.6
営業利益	4,593	3.8	462.8	816	0.5
営業外収益	1,846	1.5	21.2	1,523	1.0
営業外費用	706	0.6	2.9	686	0.4
経常利益	5,732	4.8	246.9	1,652	1.1
特別利益	1,964	1.6	1,344.1	136	0.0
特別損失	1,830	1.5	▲70.8	6,257	4.1
税引前利益	5,867	4.9	-	▲4,468	-
親会社株主に帰属 する当期純利益	3,384	2.8	-	▲4,805	-

■売上高：33,008百万円減少

一部お客様との取引形態変更および
お客様の清涼飲料事業撤退の影響

■営業利益：3,777百万円増加

容器事業における構造改革、充填事業
における生産性向上、および減価償却
方法の変更等が要因

■経常利益：4,080百万円増加

営業利益の大幅な増益に加え、持分
法損投資利益等も増益に貢献

■純利益：V字回復を達成

前期の減損損失計上による純損失から
V字回復を達成

連結貸借対照表



単位：百万円、%

	2016年3月期		2015年3月期	
		構成比		構成比
流動資産	42,728	32.3	41,963	31.1
預金・現金	2,155	1.6	930	0.7
売上債権	26,385	20.0	28,305	21.0
棚卸資産	8,694	6.6	9,159	6.8
固定資産	89,373	67.7	92,857	68.9
有形固定資産	62,553	47.4	64,732	48.0
総資産	132,101	100.0	134,820	100.0
流動負債	40,123	30.4	45,500	33.7
仕入債務	18,245	13.8	19,465	14.4
短期借入金	11,623	8.8	14,084	10.4
固定負債	42,381	32.1	42,308	31.4
長期借入金	37,175	28.1	37,164	27.6
負債合計	82,504	62.5	87,808	65.1
純資産	49,597	37.5	47,012	34.9

■ 流動資産：765百万円増加

受取手形、売掛金、電子記録債権の減少、未収入金および現預金の増加

■ 固定資産：3,484百万円減少

有形資産および長期貸付金の減少

■ 流動負債：5,376百万円減少

その他・設備関係未払金の減少および短期借入金の減少

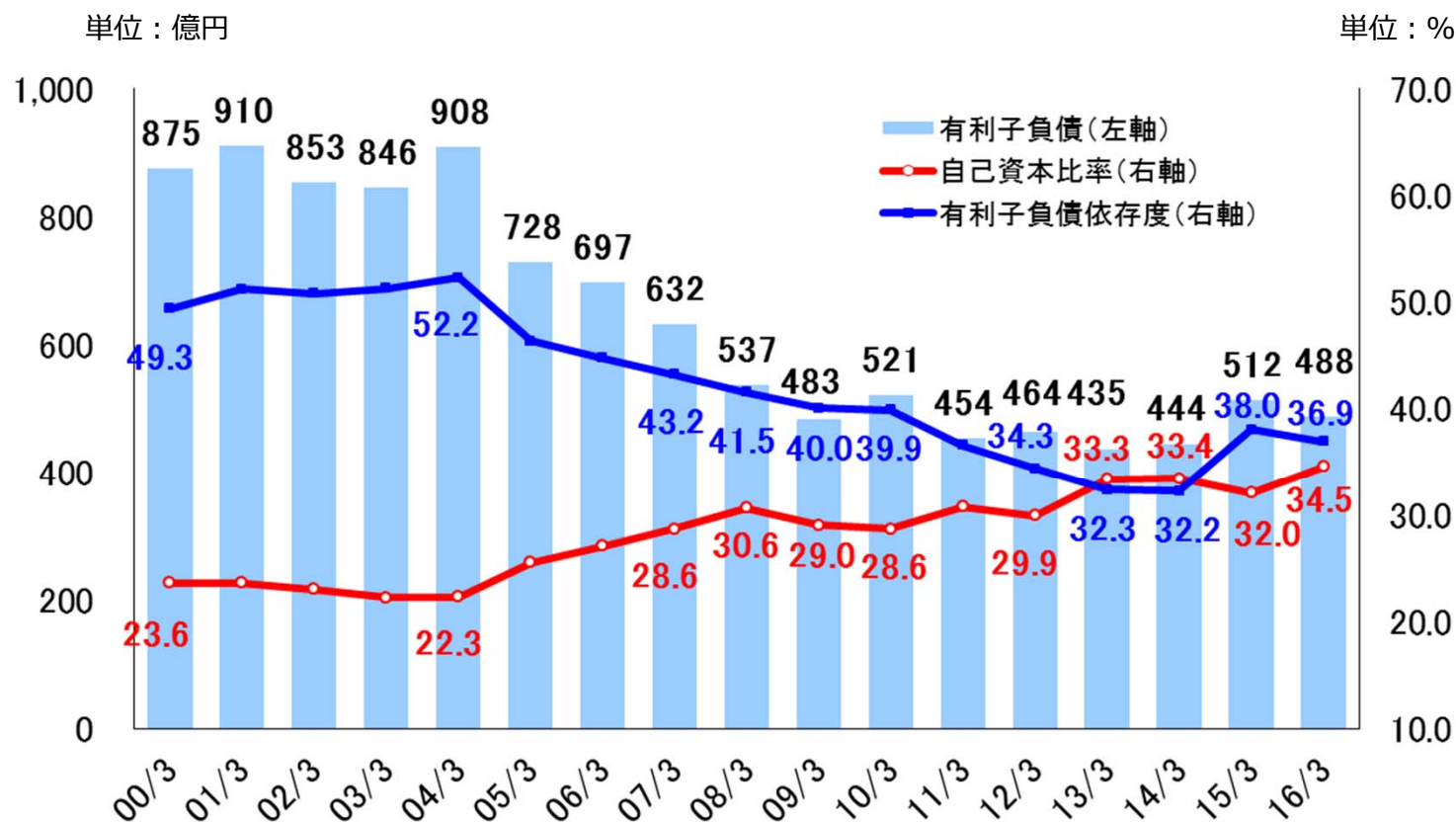
■ 固定負債：72百万円増加

リース債務減少および退職給付に係る負債の増加

■ 純資産：2,584百万円増加

親会社株主に帰属する当期純利益計上

連結有利子負債の圧縮



- 有利子負債は前期比2,450百万円減少し48,798百万円
- 有利子負債依存度は36.9%、自己資本比率は34.5%

連結キャッシュフロー計算書



単位：百万円

	2016年3月期	2015年3月期
営業活動によるキャッシュフロー	12,953	7,756
投資活動によるキャッシュフロー	▲12,089	▲15,138
財務活動によるキャッシュフロー	305	5,706
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲32	63
現金及び現金同等物の増減額	1,137	▲1,611
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	87	82
現金及び現金同等物の期末残高	2,155	930

- 営業キャッシュフローは純利益、減価償却費が増加要因
- 投資活動キャッシュフローはくじらい乳業及びコスメサイエンスの工場新設等における支出が減少要因
- 財務活動キャッシュフローは長短借入金の収入、支出、セール・アンド・リースバックによる収入が主な増減要因
- 現金及び現金同等物は1,137百万円増加
- この結果、手元キャッシュは2,155百万円

配当に関する基本方針

剰余金の配当につきましては、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、株主の皆様への安定した配当を行うことを基本方針としております。

2016年3月期の期末配当金につきましては、1株につき3円75銭と決定させていただきました。すでに実施済みの中間配当金1株当たり3円75銭と合わせまして、年間配当金は1株当たり7円50銭となります。

また、2017年3月期の配当金につきましても、中間配当金1株当たり3円75銭と合わせまして、年間配当金は1株当たり7円50銭を予想しております。

	2008/3	2009/3	2010/3	2011/3	2012/3	2013/3	2014/3	2015/3	2016/3	2017/3 予想
配当金	7.5円	7.5円	7.5円	7.5円	7.5円	7.5円	7.5円	7.5円	7.5円	7.5円
配当性向	47.4%	—	22.8%	42.1%	21.9%	16.6%	25.7%	-	14.9%	16.8%

[参考] 経営成績

要約連結貸借対照表



単位：百万円、%

	2016年3月期		2015年3月期		2014年3月期	
		構成比		構成比		構成比
流動資産	42,728	32.3	41,963	31.1	51,171	37.0
預金・現金	2,155	1.6	930	0.7	2,459	1.8
売上債権	26,385	20.0	28,305	21.0	34,233	24.8
棚卸資産	8,694	6.6	9,159	6.8	10,096	7.3
固定資産	89,373	67.7	92,857	68.9	87,003	63.0
有形固定資産	62,553	47.4	64,732	48.0	61,748	44.7
総資産	132,101	100.0	134,820	100.0	138,175	100.0
流動負債	40,123	30.4	45,500	33.7	50,242	36.4
仕入債務	18,245	13.8	19,465	14.4	27,300	19.8
短期借入金	11,623	8.8	14,084	10.4	11,422	8.3
固定負債	42,381	32.1	42,308	31.4	38,152	27.6
長期借入金	37,175	28.1	37,164	27.6	33,011	23.9
負債合計	82,504	62.5	87,808	65.1	88,395	64.0
純資産	49,597	37.5	47,012	34.9	49,780	36.0

要約連結損益計算書



単位：百万円、%

	2016年3月期		2015年3月期		2014年3月期	
		前期比		前期比		前期比
売上高	119,923	▲21.6	152,931	▲9.9	169,714	1.6
売上原価	102,559	▲26.2	138,942	▲8.8	152,306	2.4
売上総利益	17,364	24.1	13,989	▲19.6	17,407	▲4.4
販管費	12,771	▲3.1	13,173	▲3.4	13,641	2.8
営業利益	4,593	462.8	816	▲78.3	3,765	▲23.7
営業外収益	1,846	21.2	1,523	▲1.0	1,539	▲15.0
営業外費用	706	2.9	686	3.1	665	▲15.1
経常利益	5,732	246.9	1,652	▲64.4	4,639	▲22.2
特別利益	1,964	1,344.1	136	338.7	31	244.4
特別損失	1,830	▲70.8	6,257	559.3	949	▲0.6
税引前利益	5,867	-	▲4,468	-	3,722	▲25.8
純利益	3,384	-	▲4,805	-	1,966	▲35.4

要約連結キャッシュフロー計算書



単位：百万円

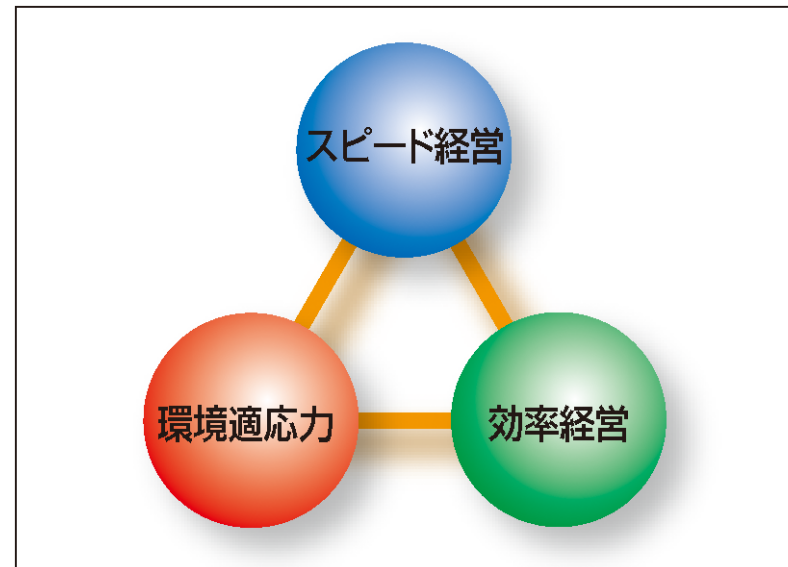
	2016年3月期	2015年3月期	2014年3月期
営業活動によるキャッシュフロー	12,953	7,756	9,710
税引前当期純利益	5,867	▲4,468	3,722
減価償却費	6,030	8,120	7,884
支払利息	451	376	445
有形固定資産除売却損益	459	251	331
売上債権の増減額	2,235	5,937	2,744
棚卸資産の増減額	641	974	▲383
仕入債務の増減額	▲1,536	▲7,847	▲1,767
投資活動によるキャッシュフロー	▲12,089	▲15,138	▲9,743
有形固定資産の取得による支出	▲11,420	▲13,503	▲8,186
有形固定資産の売却による収入	25	3	0
財務活動によるキャッシュフロー	305	5,706	673
短期借入金の純増減額	▲3,069	2,935	▲546
長期借入金の純増減額	563	3,847	1,523
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲32	63	101
現金及び現金同等物の増減額	1,137	▲1,611	741
現金及び現金同等物の期末残高	2,155	930	2,459

[参考] 会社概要

商号	ホッカホールディングス株式会社 HOKKAN HOLDINGS LIMITED
代表取締役社長	工藤 常史
創業年月日	大正10年10月23日
資本金	110億86百万円
事業概要	(1) 容器事業 (2) 充填事業 (3) 機械製作事業 (4) その他
株式	東証一部・札証（証券コード：5902）
本店所在地	東京都千代田区丸の内二丁目2番2号



昭和20年代の北海製罐
製造の金属缶



1. 容器・充填・機械製作を通じて社会・文化に貢献する事をグループのアイデンティティとしかつ、スピード感に溢れ、透明性の高い連邦型経営を押し進める事によりグループ企業価値・株主価値の最大化を図る。
2. 品質本位に最善の努力を行い、最高の商品を提供する企業グループとして特長ある技術・ビジネスモデル等の開発に努め、かつ、地球環境を大切とし広く社会・経済の発展に寄与する。

本社と各社工場



● ホッカンホールディングス 東京都

● 北海製罐

北海道	小樽工場 (昭和製器)
群馬県	明和工場 (日東製器)
	千代田工場
	東都成型
埼玉県	岩槻工場
	中央研究所
	コスメサイエンス
滋賀県	滋賀事業所
インドネシア	ホッカン・インドネシア
タイ	ホッカン・タイ

● 日本キャンパック

群馬県	第一工場
	第二工場
	赤城工場
	利根川工場
埼玉県	くじらい乳業
岐阜県	西日本キャンパック
マレーシア	日本キャンパック・マレーシア
ベトナム	日本キャンパック・ベトナム

● オーエスマシナリー

北海道	小樽工場
群馬県	群馬工場
静岡県	KE・OSマシナリー



日本キャンパック 利根川工場



OSマシナリー 群馬工場



北海製罐 岩槻工場



沿革

- 1921年 北海製罐倉庫（株）創立 資本金100万円、本社小樽
- 1941年 製缶業者8社大合同により新たに東洋製罐（株）設立（旧北海製罐倉庫（株）は小樽工場となる）
- 1950年 企業再建整備計画により小樽工場およびその附属設備を分離し北海製罐（株）を設立 資本金5,000万円
本社は東京に設立 東京証券取引所に上場
小樽電解工業(株) 設立（現昭和製器(株)）
- 1954年 東都成型(株) 設立
- 1960年 日東製器(株) 設立
- 1971年 北海製罐 岩槻工場竣工
- 1973年 (株)日本キャンパック 設立、翌年第1工場竣工
- 1974年 (株)小樽製作所 設立（現オーエスマシナリー(株)）
- 1985年 (株)ワークサービス 設立
- 1988年 日本たばこ産業(株)と共同出資にて飲料充填会社である(株)ジェイティキャンピングを設立
（2002年に連結子会社とし、社名を(株)西日本キャンパックへ変更）
- 1989年 北海製罐 千代田工場竣工
日本キャンパック 第2工場竣工
- 1997年 日本キャンパック 赤城工場竣工
日本キャンパック マレーシア設立
- 2005年 会社分割による純粋持株会社へ移行
三菱マテリアル(株)と共同で飲料用アルミ缶製造・販売会社であるユニバーサル製缶(株)設立
- 2006年 日本キャンパック 利根川工場竣工
- 2007年 キアンジュ・キャンパック ベトナム設立
- 2010年 日本キャンパック 利根川工場第2ライン竣工
- 2011年 PT.ホッカインドネシア 設立
- 2012年 KE・OSマシナリー設立
キアンジュ・キャンパック・ベトナムを子会社化 日本キャンパック・ベトナムへ名称変更
- 2013年 ホッカイン・タイ設立
株式会社コスメサイエンスを子会社化
- 2014年 くじらい乳業株式会社を子会社化
- 2015年 日本キャンパック第1工場 新ライン竣工
PT. ホッカインドネシア 第2ライン竣工



昭和30年代の北海製罐
函館工場と北洋漁業風景

注意事項



当資料に記載された内容は、2016年6月現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した経営計画に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。また、業績見通し等の数値はその正確性を保証するものではありません。投資に際しての最終的なご判断は、ご自身でなされるようお願い致します。

お問合せ先：

ホッカンホールディングス株式会社

常務取締役 山崎 節昌

TEL：03-3213-5111